

# 「大久保病院」のあゆみ

## 避病院

大久保病院は、明治12年8月、「避病院」として発足しました。都立病院の中では、最も歴史のある病院の一つです。

- ①明治12年8月、東京地方衛生会立の「避病院」(伝染病専門病院)として発足しました。東京地方衛生会は、東京府吏員、警視庁職員と医師により構成された組織です。明治14年に東京府、明治30年に東京市に移管されました。
- ②場所は現在地ではなく、「百人町」の陸軍用地を間借りしていました。明治19年8月、現在地に移転しました。
- ③当初は病気発生・鎮静の都度、設立・廃止を繰り返してきましたが、明治19年以降常設になりました。

避病院の設置  
(明治12年布達甲第82号)

① 虎列刺避病院設置の布達 (明治12年布達甲第82号)  
南豊島郡東大久保村字百人町に虎列刺避病院設立、  
本月(明治12年8月)27日午後1時開院相成り候様、  
この旨布達候事  
明治12年8月27日 東京府知事 橋本正隆

大久保避病院の設立  
(明治19年告示第71号)

② 大久保避病院創設時の官報、(明治19年告示第71号)  
大久保避病院本月(明治19年8月)17日より開院す  
明治19年8月17日 東京府知事 高崎五六

## 総合病院(旧病棟)

昭和4年3月に「復興5大市立病院」の一つとして改築、再スタートしました。昭和14年に総合病院化され、昭和62年に休止・解体になりました。

- ①関東大震災の帝都復興計画により、「復興5大病院」の一つとして改築され、普通病棟(内科・外科等)に伝染病棟を併設して発足しました。
- ②昭和14年、伝染病棟を廃止し、完全に一般普通病院として総合病院化しました。
- ③空襲により、本館以外はほぼ焼失しましたが、その後施設拡張が続き、昭和62年7月まで診療を続けました。

市立大久保病院の設置  
(昭和2年市告示第365・366号)

③ 市立大久保病院の設置・診療開始の告示  
(昭和2年市告示第365号・366号)  
東京市立大久保病院を  
東京府豊多摩郡大久保町東大久保530番地に設置す。  
(中略) 東京市立大久保病院に左記診療科目を増設し  
昭和4年6月25日より診療を開始す  
記 内科、外科、眼科、産婦人科

昭和26年当時の  
病院



建替直前の病院  
(昭和61年)



(出典)「病院半世紀のあゆみ」  
(大久保病院)

明治12年～

大正3～12年

昭和4～昭和62年

平成5年以降

## 隔離所

避病院は廃止され、大正3年に改築の上、「隔離所」となりましたが、大正12年、関東大震災で崩壊しました。

- ①避病院は廃止され、改築の上、大正3年に「隔離所」が設置されました。
- ②「隔離所」は、病院ではなく、感染する恐れがある者を隔離収容する施設で、大正12年、関東大震災により崩壊してしまいました。



当時の伝染病院の風景・豊多摩病院  
(昭和10年頃)

(出典)「TOKYOアーカイブ」  
(東京都立中央図書館)

## 一般病院(ハイジア)

平成5年にハイジアと一体となった建物で、都立大久保病院がリニューアルされました。運営形態が、平成16年に公社化、令和4年に独法化されました。

- ①平成5年、ハイジアと一体となった高層建物で、都立大久保病院が再開されました。
- ②平成16年、東京都保健医療公社へ移管(公社化)。令和4年、地方独立行政法人東京都立病院機構に移管されました(独法化)。
- ③この間、HCU病棟(平成20年)、腎センター(22年)、地域包括ケア病棟(26年)が開設されました。最近では女性医療センター(令和5年)、消化器センター(6年)、人工関節センター・国際診療センター(7年)など、医療機能充実が図られました。

腎センター  
(平成22年開設)



人工関節センター  
(令和7年開設)



現在の病院

(提供)大久保病院